

## 水でたどる歴史とあゆみ

# 水道局で氷を造っていたって本当なの？

戦後、次第に物資の出回りが順調となり、飲料用や家庭冷蔵庫用の氷の需要が増大して、氷販売価格が急騰しました。そのため医療用の氷が入手困難となり、製氷所を設置することとしました。



戦災を受けた水道施設の焼け跡にあったコンクリート造りの地下室に製氷に必要な設備を整え、昭和23年7月に製氷所を開設しました。日産5トンの製氷能力を持ち、昭和27年11月、民間製氷施設の復旧に伴う廃止までの4年5カ月間に、約2,000トンの製氷を行い、市民の保健衛生に寄与しました。

写真は、製氷所における作業の様子です。

## 名古屋市の歴代マンホールのふた

平成元年に市内3会場で開催した世界デザイン博覧会を記念して、3種類のデザインで作りました。ふたの中心に、①白鳥会場付近や人通りの多い地区には2羽の鳩を配した市章デザイン、②名古屋城会場付近には名古屋城を、③港会場付近にはポートビルをあしらっています。また、中心の周囲には、左下から「名古屋港」「宮の渡し」「名古屋城とテレビ塔」「東山動植物園」「名古屋国際会議場」がデザインされています。

ぜひ、違いを当館に見に来てください。

### 世界デザイン博覧会記念マンホール

①



②



③



水の歴史資料館  
HISTORICAL MUSEUM OF WATERWORKS AND SEWERAGE

開館時間：午前9時30分～午後4時30分  
休館日：月曜日（休日の場合は直後の平日）  
3/18(水)現在、新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、3/31(火)まで臨時休館中です。